

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成25年度採択課題）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
25-2	物流の効率化と環境負荷の低減の両立を目指した道路政策についての研究開発	京都大学大学院 教授 谷口 栄一	C

<研究の概要>

大都市における貨物車交通の問題は、経済の発展・環境の改善・省エネルギー・交通安全の観点から非常に重要な問題であり、本研究開発においては、東京や大阪などのメガシティにおいて物流の効率化と環境負荷の低減の両立を目指した道路政策を立案するための貨物車交通マネジメントの方法論について研究を行う。

<中間評価結果>

これまでの研究成果が、貨物車プローブデータによる配送実態の分析と、そのモデル化に留まっており、今後の研究計画の修正が必要である。

<修正内容>

1. 配送実態とモデルによる最適経路の違いについて、どのように説明・評価し、実務として具体的にどう対処すべきか、その考え方を整理すること。
2. 将来的に道路行政として役立つ成果を得るために、その成果の活用シーンを具体化した上で、これまでの貨物車プローブデータの分析の適用限界を示すとともに、今後に向けて必要となる情報・データ等を具体的に整理すること。